企業経営の基盤としての安全衛生活動

～4つの安全活動と衛生改善による安全職場づくり～

(株)ブリヂストン　関工場
工場長　金子　準平

2026年10月7日

BRIDGESTONE
Solutions for your journey

会社概要

社名	株式会社ブリヂストン
本社所在地	東京都中央区京橋3丁目1番1号
設立年月日	1931年（昭和6年） 3月1日
創業者	石橋　正二郎 いしばし　しょうじろう



取締役
代表執行役 Global CEO
森田　泰博



取締役
代表執行役 EAST CEO
田村　亘之



執行役
WEST CEO
スコット・デイモン



執行役
WEST CTO
エミリオ・ティベリオ



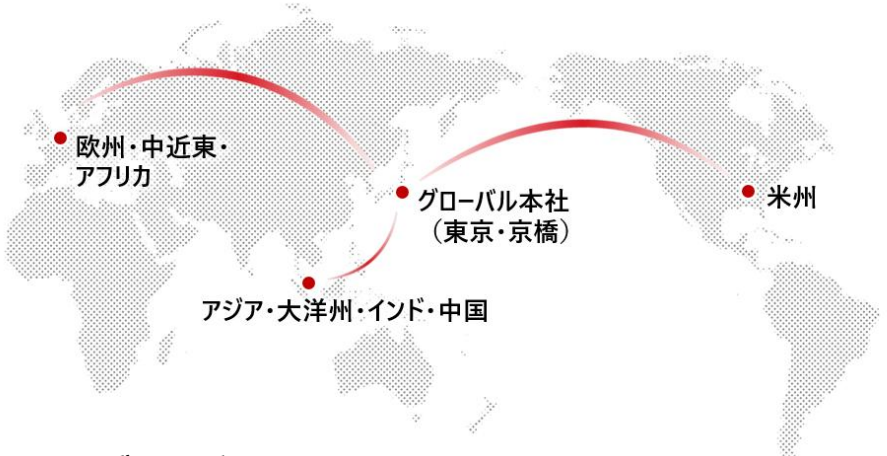
執行役
CIO
草野　智弘



執行役
CPO
今井　弘



執行役
CMO
細　幸彦



グローバル約150の国と地域で事業を展開

＜2025年概況（連結ベース）＞

売上収益	44,295億円
調整後営業利益	4,937億円
調整後営業利益率	11.1%
グローバル従業員数	115,716人

Confidential S4

関工場概要

項目		内容
関工場	所在地	岐阜県関市新迫間20番地 関工業団地内
	工場設立	工場組織発足　1990年9月 竣工式　1990年12月
	敷地面積	167千㎡ (5万坪) (関地区全体)
	生産品目	**WSホース、樹脂配管**
関地区の特徴		• 同一敷地内に複数のGr会社が操業しているユニークな地区 • 地域に根差した各種社会貢献活動を推進 自転車交通安全教室 エコピアの森 看護学生受入 スポーツイベント救護ボランティア

関地区のレイアウト



Confidential S4

企業理念体系

企業理念

企業理念
The Bridgestone Essence

使命
Mission

最高の品質で社会に貢献
Serving Society with Superior Quality

心構え
Foundation

誠実協調
Seijitsu-Kyocho
[Integrity and Teamwork]

進取独創
Shinshu-Dokuso
[Creative Pioneering]

現物現場
Genbutsu-Genba
[Decision-Making Based on Verified, On-Site Observations]

熟慮断行
Jukuryo-Danko
[Decisive Action after Thorough Planning]

BRIDGESTONE

安全宣言



絶対基盤

品質宣言



顧客価値創造
競争優位の確立

環境宣言



社会価値の創造

Confidential S4

Bridgestone 3.0 Journey

Vision

2050年 サステナブルなソリューションカンパニーとして、
社会価値・顧客価値を持続的に提供している会社へ

Confidential S4

厚生労働大臣表彰　受賞経緯と評価ポイント

受賞への歩み

2015
奨励賞を受賞

2018
- 安全衛生活動を継続
- 2018年の休業災害を最後に
  7年を超える無災害を継続

2025
厚生労働大臣表彰
「優良賞」を受賞

評価された3つのポイント

1	法令対応にとどまらない 衛生環境の改善
2	有害要因をなくす、また減らす
3	長期間にわたる無災害の継続

関工場が目指したこと

「安全に使う」で終わらせず、「使わない方法」を考える

関工場は、どのように現場の気づきを根本対策へつなげたのか　次頁よりご紹介

Confidential S4

ブリヂストンにおける4つの安全活動



	実践ポイント
3S	**【安全の基盤となる職場づくり】** **整理**、**整頓**、**清掃**を愚直に実施(清潔、躾は自由項目)。 製造現場だけではなく、事務所も含め全員で実施
KY	**【危険を察知し、安全行動を取る人づくり】** 自ら**危険を察知し、災害を起こさない行動**をとることで災害を未然防止。 また、能力を高めるためにKYT(4ラウンド法 1回/月)を通し、人づくりを行う
RA	**【危険源を評価し、リスクを低減】** 設備、作業に起因する災害を未然に防止する為、**危険源ごとを対象にRA実施**。 また、重篤災害につながる「重災ポテンシャル作業」は、 定期的な管理監督者のモニタリング対象として運用。
安全ルール	**【重篤災害を防ぐ共通の決まり】** 過去の重篤災害の反省から、**「重篤災害を防ぐためのきまり」として、** **8つの項目**を制定。自分の身、そして仲間の身を守る為のルール。

ブリヂストンでは、安全宣言に基づき、グループ・グローバルでぶれずに安全活動を推進

Confidential S4

安全活動を、根本対策につなげる

①気づく（3S） 3S	②課題にする（KY） KY	③根本対策へ（RA） RA	④定着させる（標準化） 標準化
異常や変化を見える化する • 現場の小さな気づきを拾い上げる	**危険源を共有する** • 職場の課題として話し合う	**評価し、変える** • 対症療法ではなく、発生源を無くすことを検討する	**仕組みとして標準化する** • 手順・標準に落とし込み、誰でも同じ作業ができるようにする

【具体例】ゴム接着工程におけるキシレン廃止

現場の気づき 3S	課題にして見直す KY	根本対策の実現 RA	標準化 標準化
• ゴム接着にキシレンを使用 • 臭気や取扱い時のリスク • 保護具を着用して作業	• 技能員の声を職場の課題として共有 • 保護具で管理も、キシレンそのものは工程に残る • **本当にその工程に必要かを問い直す**	• ゴムの接着方法を見直し、キシレンを使用しない工程へ • 製造・製造技術・品証で検証し、必要な品質を確保 • 関係部門が連携して実現	• キシレンを使わない接着方法を作業標準に反映 • 教育で定着を確認

気づきから標準化まで、4つのステップでつなげる

Confidential S4

衛生改善事例①　接着工程におけるキシレン廃止

【改善前】

◆ **キシレンを使用する際の保護具**

～毒劇物のキシレンを扱うには保護具の着用が必須～

（1）防毒マスク
（2）有機溶剤用保護手袋
（3）保護メガネ







※ 改善後の写真は、設備・工法に関わるため非掲載

【課題認識】 3S KY

- 保護具の徹底により、リスクは低減されている
- しかし、キシレン自体の有害性は工程内に残っていた
- 保護具の着用状態や異常時も含め、ばく露の可能性を完全にはなくせない

【改善内容】 RA 標準化

- ゴム同士の重ね方を工夫し、必要な引張強度を確保
- **キシレンを必要としない接着方法へ変更**
- 保護具着用時の暑さ対策にも効果大

→ 保護具に頼る管理から、ばく露そのものが発生しない工程へ

キシレンを安全に管理する　⇒　キシレンを使わない　で根本対策による改善実施

Confidential S4

衛生改善事例②③　MEK廃止／腰痛対策

【事例②】インクジェットプリンター　MEK廃止

① 課題を把握　3S　KY



- 製品へのLotNo印字にインクジェットプリンターを使用し、溶剤にMEKを使用
- 清掃時にもMEKを使用しており、マスク着用が必須

② 代替案を選ぶ　RA

- 複数メーカーを比較し、安全・仕様・コスト面を含めて選定
- インクそのものを水溶性に変更し、**MEKを使わない工程へ**

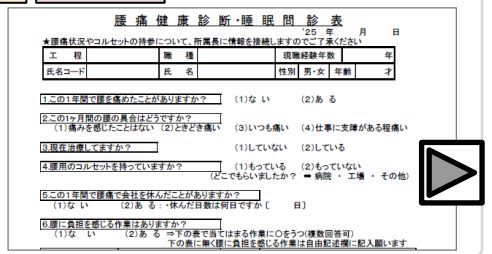
③ 関係部門を巻き込んで定着させる　標準化

- 印字の見栄えが変わるため、工場だけでなく事業部・開発と合意形成
- 後戻りのない形で切り替えまでやり切った

【事例③】腰痛対策

① 実態を把握（継続実施）　3S　KY

- 全従業員に対し、健康診断時に腰痛アンケートを実施


腰痛健康診断・睡眠問診表

'25 年　月　日

★腰痛状況やコルセットの持参について、所属長に情報を接続しますのでご了承ください

工　程		職　種		現職経験年数	年
氏名コード		氏　名		性別 男・女	年齢　才

1.この1年間で腰を痛めたことがありますか？　(1)な い　(2)あ る

2.この1ヶ月間の腰の具合はどうですか？　(1)痛みを感じたことはない (2)ときどき痛い (3)いつも痛い (4)仕事に支障がある程痛い

3.現在治療してますか？　(1)していない (2)している

4.腰用のコルセットを持っていますか？　(1)もっている (2)もっていない　(どこでもらいましたか？ ➡ 病院 ・ 工場 ・ その他)

5.この1年間で腰痛で会社を休んだことがありますか？　(1)な い (2)あ る ・休んだ日数は何日ですか（　日）

6.腰に負担を感じる作業はありますか？　(1)な い (2)あ る ⇒下の表で当てはまる作業に○をうつ(複数回答可)　下の表に無く腰に負担を感じる作業は自由記述欄に記入願います

② 優先度を決める（2025年に実施）　RA

- 2025年からはエルゴノミクスRAも用いながらリスクを評価
- **改善項目に優先順位をつけ、取り組む順番を決める**

③ 改善につなげる（一部実施済）　標準化

- アンケートで挙がった作業は、バキューム装置の導入など軽労化を実施済
- エルゴノミクスRAで優先度をつけた作業は、これから改善を進める

改善を広げていくには、部門を越えた連携が必須

Confidential S4

現場の気づきを、部門横断で改善

現場が起点　意識

現場の気づきを出す

- 【製造】
  現場の課題・技能員の声を把握する
- 現行作業と改善後の作業性を
  確認する
- 試行を繰り返す

技術で作り込む　技術

製造技術・設備・品証で検証

- 【製造技術】
  材料・製法を変更できるか、必要な
  強度・性能を満たすかを確認する
- 【設備】
  新工程に対応する設備仕様を検討し、
  導入・改造する
- 【品証】
  変更による製品品質・印字品質への
  影響を評価する

支援と経営判断　仕組み

RA・法令面の確認とリソース確保

- 【安全衛生】
  有害性と法令面を確認し、
  RA・作業環境管理を支援する
- 【工場長】
  安全衛生上の課題を
  経営課題として扱う
- 必要な人員、費用、検討期間を
  確保する

多くの部門が持ち場・立場で取り組むことで、根本対策を実現

Confidential S4

厚生労働大臣表彰につながった3つの要因

評価ポイント（P6）を、私たちの行動に置き換えると

要因1

管理状態で満足せず、改善を続ける

- リスクランクが低くても、**有害要因が残っていないか**を見る
- 保護具の着用だけで十分とは考えない
- 「使用しない方法に変えられないか」を検討する

要因2

安全と生産を同時に成立させる

- 安全衛生だけでなく、**生産工程として定着する形**で改善する
- 作業性や設備条件も含めて成立させる

要因3

現場の課題を部門横断で解決する

- 現場の気づきを起点に改善する
- 製造・製造技術・設備・品証・安全衛生など**全部門が連携**する
- 管理者が優先順位と必要な資源を示す

受賞はこの3つを継続してきた結果と捉える

Confidential S4

今後の課題と展望

今後の課題

① 設備の変化

- 設備の老朽化
- 設備改造や新規設備導入時のリスク

② 取扱物質の増加

- 管理対象物質の増加による、化学物質管理の高度化・複雑化

③ 働く環境の変化

- 猛暑などに対する熱中症対策
- 働く人や働き方の多様化

④ 人と組織の変化

- ベテラン層の定年退職に伴う技能の継承
- 若手社員の確保と教育

今後の方向性

リスクを先回りして潰す

- 変更時の化学物質RAを確実に実施する ① ②
- 有害性の低い材料・工程への転換を継続する ②
- 作業環境測定の結果と現場の声を改善に反映する ③

現場に定着させる

- 優れた改善を類似工程へ横展開する ① ②
- 異常を止める、言える、学び合える職場をつくる ③ ④
- ベテランの技能を若手へ引き継ぐ ④

今後も変化するリスクを捉え、安全衛生活動を深化させていく

Confidential S4

まとめ

本日お伝えした3つのポイント

ポイント1

安全衛生は企業経営の基盤

- 安全があり、はじめて**生産、品質、人材育成、事業継続**が成り立つ

ポイント2

3S・KY・RA・標準化を根本対策へつなげる

- 4つの安全活動を確実に実践し、実施すること自体を目的にしない
- 保護具や注意喚起だけに頼らず、**使用回避、代替、設備改善**を優先する

ポイント3

現場の課題を部門横断で解決する

- 現場の気づきを一部署だけで抱えない
- **工場全体の取組**で改善を続け、**やりきる**

働く人の安全と健康をいつまでも大切にできる職場を目指し、これからも全員参加で安全衛生活動を継続していく

Confidential S4

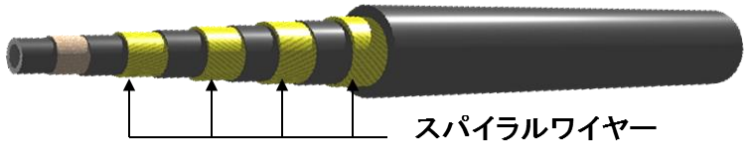


Copyright © Bridgestone Corporation

生産品目

製品と用途











建設機械や工場設備の射出成型機等、**各種油圧機器配管**に採用

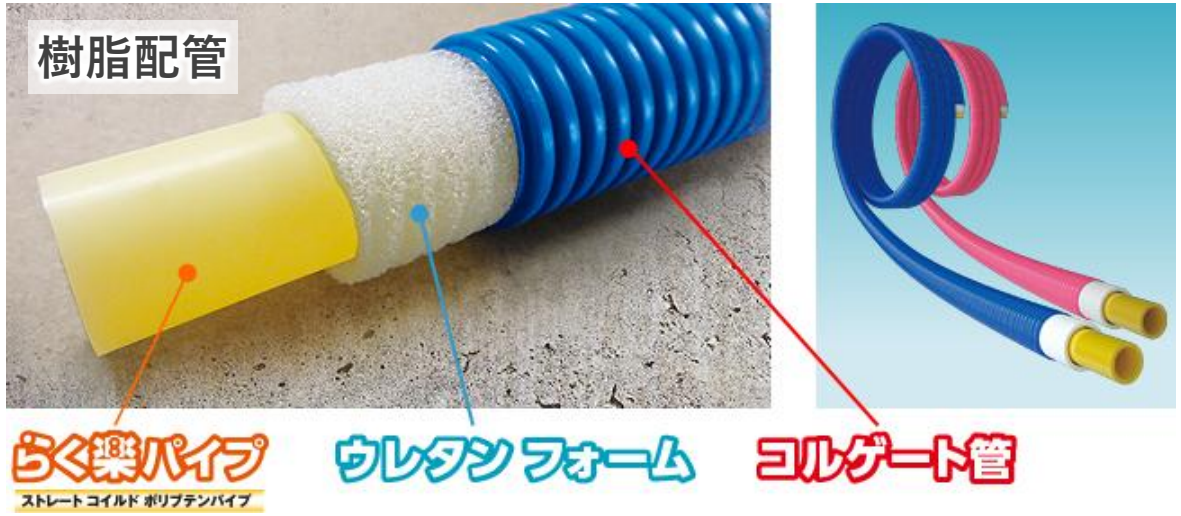
WSホースの特徴

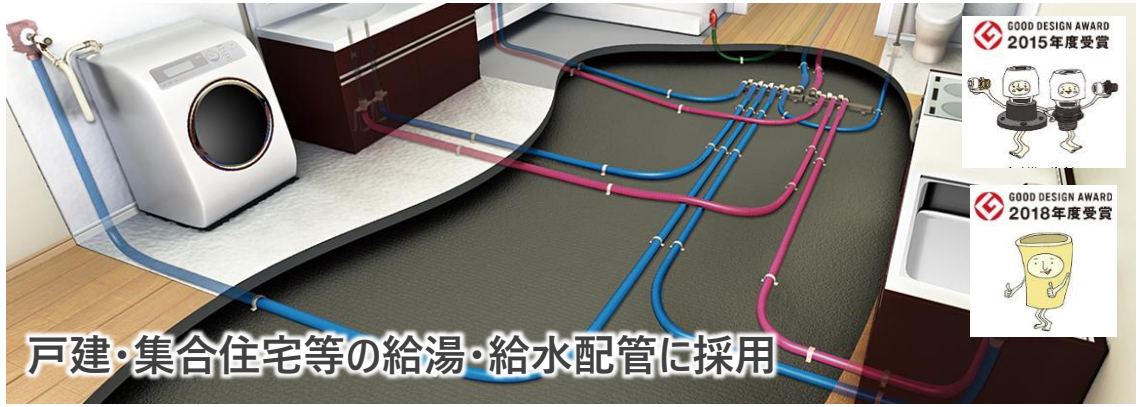
超高圧性能 (～42MPa)　**高耐久**性能 (耐インパルス性)　**柔軟**性 (コンパクト配管可能)

Confidential S4

生産品目

製品と用途

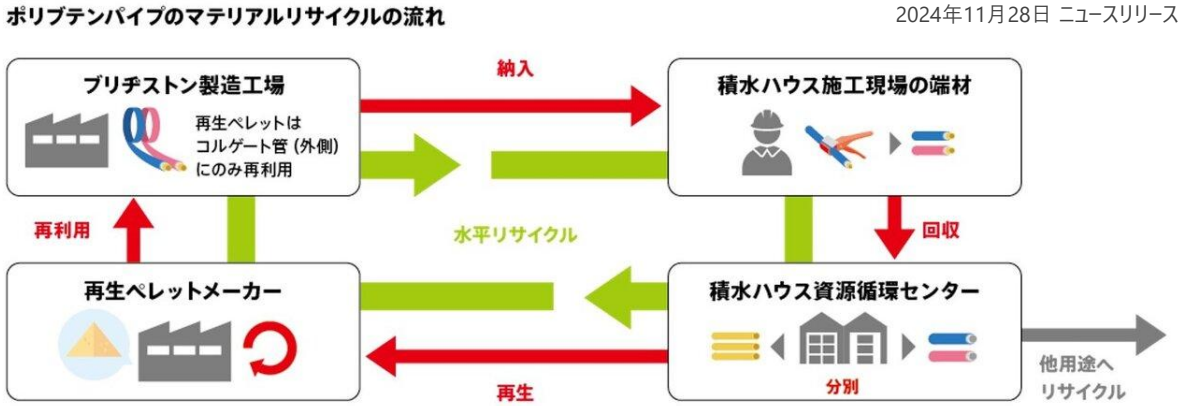




樹脂配管の特徴

ワンプッシュで接続　軽量　高耐久性　柔軟性　耐震性
リサイクル可能

サーキュラーエコノミー実現に向けた取り組み



SEKISUI HOUSE × BRIDGESTONE





積水ハウス㈱との共創で資源の水平リサイクルを2024年より実行化
環境負荷低減に加え、他社が真似できないビジネスモデルを構築

Confidential S4

ブリヂストン共通安全ルール

＜禁止事項＞

項目	してはいけないこと
危険領域	LOTOを実施せずに、定められた危険領域内に入ってはならない。
非常停止装置・安全装置等	非常停止装置・安全装置・ガードを取り外したり、無効化したままマシンを起動してはならない。
異常処置作業	異常処置作業時、認定されていない作業を行ってはならない。
吊り作業	吊り荷の下に身体を入れてはならないし、第三者も入れてはならない。
組み作業	組み作業は、合図応答せずに、実施してはならない。
センサー	認められたセンサー以外は、触ってはならない。
制御盤	制御盤の扉を開けてはならない。
高所作業	2m以上の高所作業では、ヘルメット、安全帯を使用せずに作業してはならない。

＜順守事項＞

項目	しなければならないこと
危険領域	定められた危険領域内に入る時は、LOTOを実施すること。
非常停止装置・安全装置等	非常停止装置・安全装置・ガードを取り外したり、無効化する時は、課長以上の許可のもと、職長が立ち会うこと。
異常処置作業	異常処置作業で、認定されていない作業は、職長へ連絡し、指示を受けること。
吊り作業	吊り荷の下から外れ、第三者も吊り荷から遠ざけること。
組み作業	組み作業は、作業指揮者を決め、合図応答を実施すること。
センサー	認められたセンサー以外は、認定された者に調整・清掃してもらうこと。
制御盤	認定された者が、制御盤の扉を開けること。
高所作業	2m以上の高所作業では、ヘルメット、安全帯を使用すること。

8つの「してはいけないこと」、「しなければならないこと」を制定し、全従業員が遵守。1回/年の理解度テストを実施

Confidential S4

腰痛対策の取り組み(補足)

全従業員に実施し、自覚症状と負担の大きい作業を把握（抜粋）

腰 痛 健 康 診 断・睡 眠 問 診 表

'25 年 月 日

★腰痛状況やコルセットの持参について、所属長に情報を接続しますのでご了承ください

工 程		職 種		現職経験年数		年
氏名コード		氏 名		性別	男・女	年齢	才

1.この1年間で腰を痛めたことがありますか？ (1)な い (2)あ る

2.この1ヶ月間の腰の具合はどうですか？
(1)痛みを感じたことはない (2)ときどき痛い (3)いつも痛い (4)仕事に支障がある程痛い

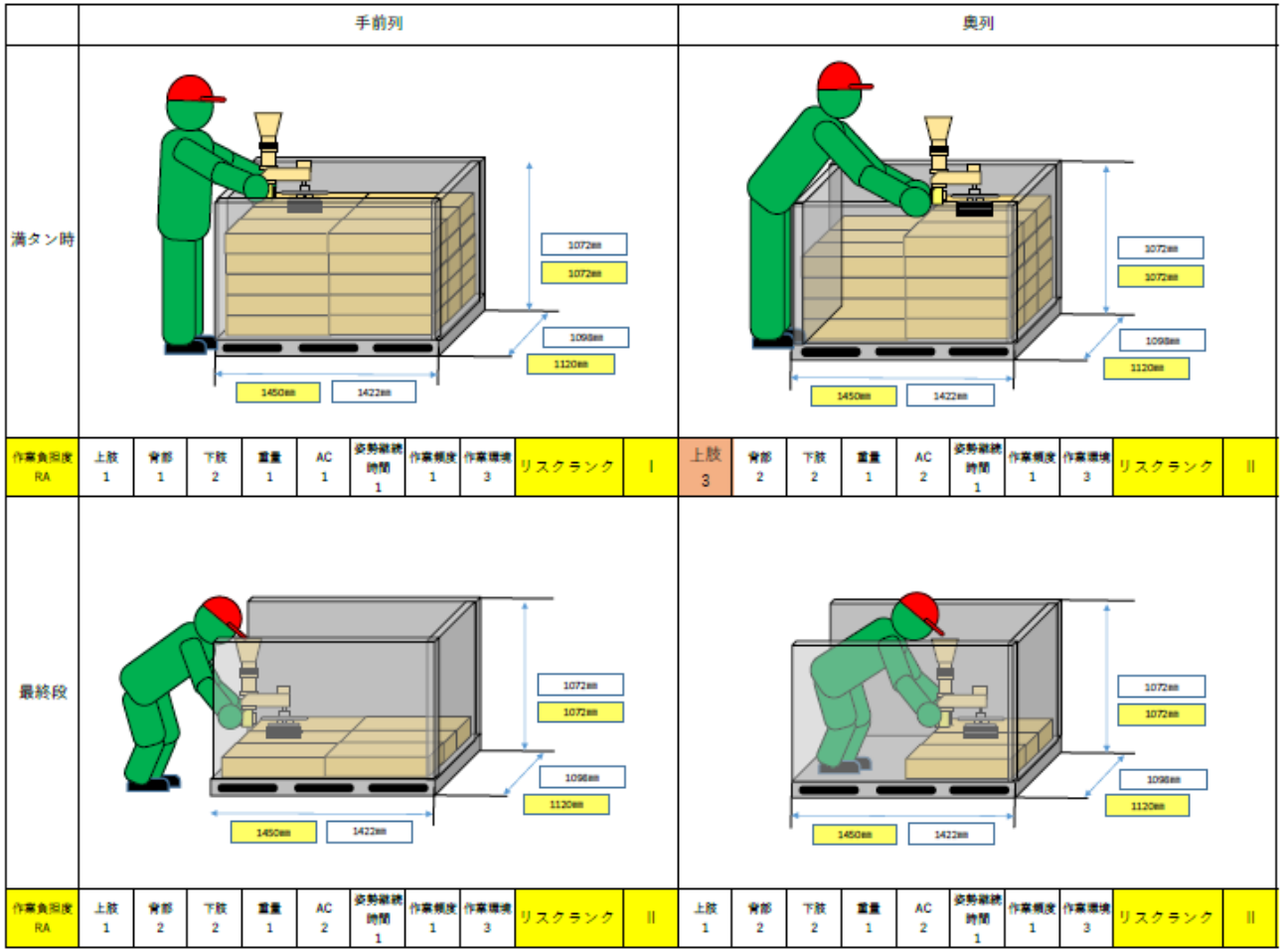
3.現在治療してますか？ (1)していない (2)している

4.腰用のコルセットを持っていますか？ (1)もっている (2)もっていない
(どこでもらいましたか？ ➡ 病院 ・ 工場 ・ その他)

5.この1年間で腰痛で会社を休んだことがありますか？
(1)な い (2)あ る：・休んだ日数は何日ですか〔 日〕

6.腰に負担を感じる作業はありますか？
(1)な い (2)あ る ⇒下の表で当てはまる作業に○をうつ(複数回答可)
下の表に無く腰に負担を感じる作業は自由記述欄に記入願います

作業姿勢の負担を評価し、持ち上げ動作そのものをなくす
（バキューム装置の導入：実施済）



Confidential S4

ブリヂストンの歴史

明治時代



仕立物業　足袋専業 → 地下足袋考案

1931



国産初のタイヤ

2024

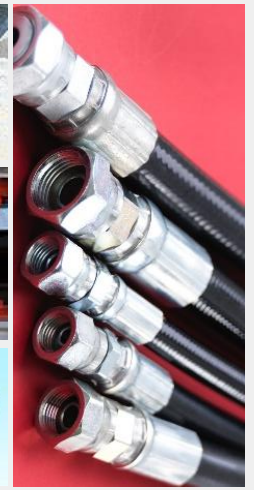





タイヤ







タイヤ以外



創業の地



創業者　石橋 正二郎

社名の由来

BRIDGESTONE

石 橋



スポーツ



サイクル



BRM

グループ会社（一部）

Confidential S4